

給気ユニット（角形タイプ）〔壁据付専用〕

メルコエアテクノロジー

室内給気部材 形 名

AT-100QNK2

取扱説明書（据付説明書付）

この製品は24時間換気方式の排気による圧力差を利用する自然給気口として住宅居住室内の壁に据付けて使用するものです。それ以外の用途・場所には使用(据付け)しないでください。

■この製品の性能、機能を十分発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付けが必要です。

■据付けを始める前に、説明書をよくお読みになり正しく安全に据付けてください。

■据付けは販売店・工事店様が実施してください。

据付け終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

ご使用の前に説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

なお、お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに保管してください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で説明しています。



指示に従い
必ず行う



注意

誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの

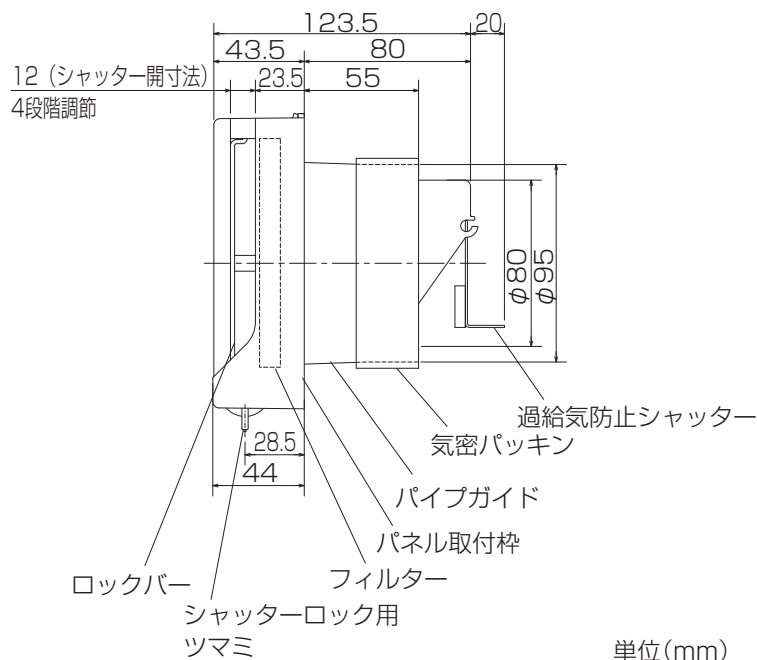
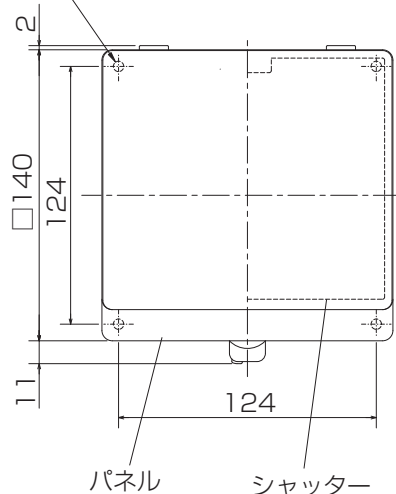
- 据付けは、確実に行う（落下によりけがをする原因）
- 据付けやお手入れの際は、手袋を着用する（着用しないとけがをする原因）

据付け前のお願い

- 屋外環境に適したフードを選定してください。
雨水がかかる場合……深形フードをおすすめします
風雨が強く下から吹き上げがある場合……角形耐外風フードをおすすめします
外の騒音が大きい場合……防音形フードをおすすめします
- 屋外部材を組み合わせる場合、壁厚が薄いと据付けられない場合があります。
- 直接炎・油煙があたるおそれがある場所や有機溶剤・可燃性ガスのある場所では使用できません。
- 屋外（外気）の環境によっては、壁（天井）を汚すことがあります。また、小さな虫は侵入する場合がありますので、屋外側においては外灯などから離れた場所を選んで据付けてください。
- 外気（冷気）侵入や雨水浸入、虫侵入の影響のない場所を選んでください。
- 外気の取入れは燃焼ガスなどを吸込まない、積雪で埋もれたりしない場所を選んでください。
- 高温（40℃以上）になる場所・浴室などの湿度が高い場所では使用できません。
- 下記環境下で使用しますとシャッターおよびパネル表面から結露水が滴下することがあります。
（屋外温度が－10℃を下回りかつ室内温度15～25℃、室内湿度45%RH以上）
- 火災警報器がある場合は、感知部から1.5m以上離れたところに据付けてください。
- メンテナンスができる場所に据付けてください。
- 接続するパイプは雨水の浸入を防ぐために屋外側に1/30の下りこう配をつけてください。
- 設置したパイプに著しい変形（ツブレ等）がある場合は、製品を据付けしないでください。
- 石こうボードにねじ固定する場合は、必ず市販の石こうボード用アンカーを使用して据付けてください。
- 据付面に反り・凸凹がないか確認して据付けてください。
- 有機溶剤入のシーリング材などは樹脂を溶かすので使用しないでください。

外形寸法図

4×φ4木ねじ用据付穴
(薄肉部)



単位(mm)

■付属部品

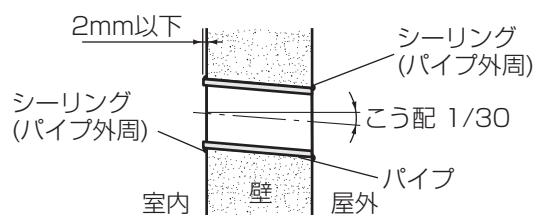
パッキン (厚さ約5mm) …………… 1本

■適用パイプ

- 硬質ポリ塩化ビニル管 (VU)
- 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
- スパイラルダクト

据付方法

1. 据付前の準備



壁穴へのパイプの固定

1. 据付け場所を決めて穴をあける。

- 壁厚に応じてパイプの長さを決めてください。

2. 壁穴にパイプを確実に固定する。

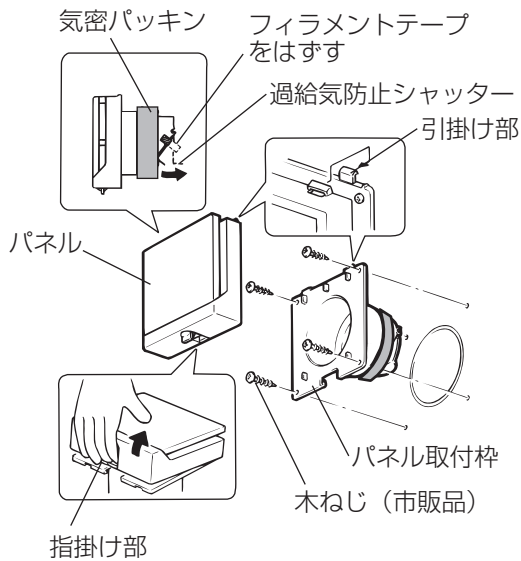
パイプと壁のすき間はシーリング処理を施します。

- 固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
- 壁内への雨水浸入を防止するためパイプは室内壁面まで差し込みます。

お願い

- パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に下りこう配をつけ、固定してください。
- 製品据付面にパイプ・シーリングがはみ出す場合は、2mm以下としてください。

2. 本体の据付け



1. 過給気防止シャッターを止めているフィラメントテープをはずす。

2. パネルの指掛け部に指を掛け、手前に引いて引掛け部を上側にずらしてパネルをはずす。

お願い

- パネルの取りはずしは指掛け部で行ってください。
(パネルの一部がはずれて落下する場合があります)

3. 図のように市販の木ねじ(4本)で壁に確実に固定する。

お願い

- シーリングで固定する場合はパイプ内のほこり、水分をきれいに拭き取ってください。
- 垂直な壁面に据付け、過給気防止シャッターが円滑に動く状態で据付けてください。
- 設置パイプがVU管の場合、付属のパッキンを気密パッキンの上に巻き付けてください。
- 製品が水平ではない場合、据付ねじをゆるめて傾きを調整してください。
- 石こうボードにねじ固定する場合、石こうボード用アンカー（市販品）を使用して据付けてください。

4. パネルをパネル取付枠上側の引掛け部に確実に引掛けて取付ける。

5. 屋外側にフードを据付ける。

お願い

- 雨水浸入防止のため深形フードをご使用ください。
- 風雨が強く下から吹き上げがある場合は角形耐外風フードの選定をおすすめします。
- 外の騒音が大きい場所では防音形フードの選定をおすすめします。

使用方法



ツマミ位置 (シャッター開閉状態)	使用状態
全開 ●	・ 通常使用するとき
↑ ● ↓ ●	・ 給気量が多くて寒いときなどに風量を少なくするとき
閉 ■	・ 台風などの外風の侵入が強いとき、または、冬場の給気による肌寒さを感じるとき

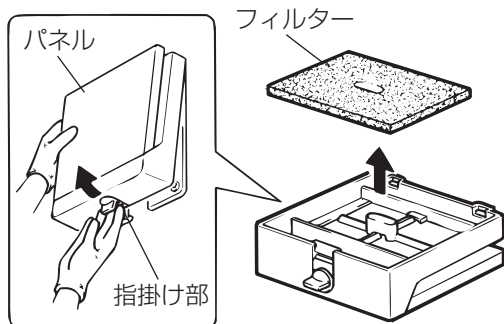
シャッターの開口寸法（面積）は、「全開・閉」以外に3段階の調節ができます。調節する際は、左表を参照してください。

お願い

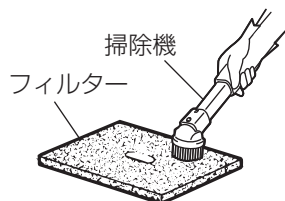
- この給気ユニットは、通常「全開」状態で使用しますが、台風など外風の侵入がはげしいときはパネル下部のシャッターロック用ツマミを回転させ「閉」にします。
その後必ず「全開」状態にすることを忘れないでください。
- パネル表面は使用環境条件により結露が発生し、パネル表面に水滴が付いたり滴下する場合がありますので結露による水滴を拭き取ってください。

お手入れ

フィルターにほこりが付着しますと風量低下などの原因になりますので、1～2か月に1度を目安に清掃してください。



〈フィルターの清掃〉



交換用フィルター	適用機種
AT-100QNK-F	AT-100QNK ₂

1. パネルをはずす。

- パネルの下部の指掛け部に指を掛け、手前に引いて引掛け部を上側にずらしてはずします。

2. パネルの内側からフィルターを取り出す。

3. フィルターの清掃

- 軽く手でたたかまたは、掃除機でほこりを吸い取ります。汚れのひどい場合は、水またはぬるま湯（40℃以下）に台所用中性洗剤を溶かして押し洗いをし、よく乾かします。

お願い

- フィルターを熱湯で洗ったり、もみ洗いしたり、直接火で乾かすことはしないでください。
- 押し洗いをした場合は、よく乾かして十分に水気を取ってください。

4. パネルの汚れは、薄めた台所用中性洗剤を浸した布で汚れを拭き取り洗剤が残らないよう乾いた布でよく拭き取る。

5. フィルター・パネルを元通り取付ける。

お願い

- 台所用中性洗剤を使用量の目安まで薄めて使用してください。（洗剤は原液のまま使用しないでください）
- 台所用中性洗剤で清掃した後は、中性洗剤が残らないようふきとってください
- パネルをはずす際に虫やほこりが落下する場合がありますのでご注意ください。
- フィルターを入れ忘れると壁が汚れる原因となりますので、フィルターを入れ忘れないようにしてください。
- お手入れに下記の溶剤や洗剤、清掃用具を使用しないでください。製品表面に傷つきや破損・変形・変質・変色、割れが発生する原因になります。

（シンナー、アルコール、ベンジンなどの溶剤、ガソリン、灯油、カビ取り洗剤、柑橘系などの植物系洗剤、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系洗剤、化学ぞうきんの薬品、クレンザーなどの研磨剤入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など）

- 交換用フィルターは、純正品をご使用ください。純正品は、下記にてお問い合わせいただけます。

交換用フィルターのご注文

■ オンラインショップ

<https://www.melcoairtec.jp/>

右の二次元コードからもアクセスできます



※お問い合わせは、本紙末尾に記載されているフリーダイヤルよりご連絡ください。

メルコエアテクノロジー株式会社

駒場事業所

〒508-0011 岐阜県中津川市駒場526-2

フリーダイヤル TEL: 0120-66-9893

FAX: 0120-66-9895

ホームページアドレス: <https://www.melat.co.jp/>